

あなたの声を“かたち”に！
若い力で全力投球！！

勝山ひでお通信

Vol. **12**

ごあいさつ



皆様から力強いご支援をいただき、2期目のスタートを切らせていただくことができました。心から感謝申し上げます。これからも初心を忘れず、生まれ変わった決意で市政発展のために全力で働いてまいります。

この度、常任委員会は「建設企業委員会」に所属。特別委員会は「まちづくり対策特別委員会」の副委員長を拝命しました。皆様の声をお聞きし、これからのまちづくり生かすため誠心誠意努めさせていただきます。

今後とも暖かいご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



フォト リポート



長野市版ネウボラ来春開始予定！！

長野市保健所は9月議会で勝山が提案をさせていただいた、フィンランドの施策を参考にした妊娠から出産、育児まで切れ目のない支援を行う仕組み「ネウボラ」を来春開始するとの報道がありました。保健センターに専門コーディネーターが設置され子育て支援が充実する予定です。



発行 勝山ひでお

長野市下駒沢2253-1

TEL/FAX 026-219-2016

E-mail: katsuyama@nkomei.com

ホームページ

<http://www.komei.or.jp/km/nagano-katsuyama-hideo/>



6月、9月議会の個人質問

6月定例議会、9月定例議会において個人質問に立たせていただき、今まで全議会で個人質問をさせていただきました。6月は「中小企業・個人事業支援」9月議会は「少子化対策、子育て支援」について質問をさせていただきました。

主な質問、答弁の趣旨は以下のとおりです。

中小企業・個人事業者支援について



勝山 岡崎市は、売り上げの拡大のアドバイスに焦点を絞った中小企業支援を始める為、商工会議所と協働して、f-Biz（富士市産業支援センター）をモデルとした経営相談支援拠点Oka-Bizを開設。平成26年5月には、岡崎信用金庫とも業務連携しました。Oka-Bizの1年間の相談件数は1年間で1404件、1日平均7.1件破格の実績。リピート率は73%、口コミからの新規相談の割合は77%と信頼があることがうかがえる。新しい相談は3週間待ちで、行列ができる相談所として有名になっている。経済の活性化、雇用対策、人口流入、所得アップのため、長野市もf-Bizの現場を見て相談支援の検討をするよう要望する。



市長 金融機関や商工団体等の支援機関から意見を聞きながら研究したい。

商工観光部長 昨年県のよろず支援拠点が開設し連携をしていく手法が有効と考える。しかし、相談支援の状況だけではなく効果を検証していくことが必要。また、支援機関と連携を取りながら直接現場を見ることは大切。現場を見たいと考えている。



勝山 創業支援について伺う。日本経済に長野県の開業率は全国最下位、廃業率が開業率を上回り、企業数の先細りの懸念があるとの記事がありました。長野市としての現状の把握、対策について伺う。

商工観光部長 平成21年から23年までの3年間で新規事業所数が893事業所、廃業事業所数が3,270事業所。長野県内の平均と同様に、廃業者数が新設事業所数を上回る状況。創業者を支援するため、創業支援事業計画を作成し、5月20日付で国の認定を受けた。この計画により、ながの創業サポートオフィス及び金融機関とこれまで以上に強固な連携を図ることで、創業者を支援していく予定。

少子化対策、子育て支援について

勝山 人口減少問題に対応するため、今まで以上に少子化対策、子育て支援に力を入れる必要がある。長野市で産前産後にわたる切れ目のない支援を行うため、子育て包括支援センターに常駐の保健師を設置する長野市版※ネウボラを展開してみたいはいかがか？

保健福祉部長 専任の保健師を設置し、妊産婦等を包括的、継続的に支えていく人員体制の整備など、多くの課題があるので、先進事例を参考に調査研究をしてまいります。



「※ネウボラ」とは

ネウボラとは、フィンランド語で「助言の場」の意味で、妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談支援をワンストップ（1ヶ所）で提供する「子育て支援センター」のこと。常駐の保健師がいて、子育ての“指導”ではなく、お母さんが安心して“相談”できる環境です。